



作文1部

# 農林水産大臣賞

## 「わたしの田んぼ」

新潟県柏崎市立田尻小学校二年

村田 陽香

わたしは、田んぼをもつてています。三年前の五月三日のお誕生日に、おとうさんとおかあさんがプレゼントしてくれました。

「今日からここが陽香の田んぼだよ。」

と言われて田んぼを見たら、三かく形の田んぼでした。おにぎりみたいでへんだな、と思いました。でも気もちがルンルンしました。

田んぼは八石山の近くにあります。山と山にかこまれた「たな田」です。水道やでん気がない、山おくの「大かく間」というところです。

春は田うえをします。小さくて細いなえをうえます。足がぬけなくなるからたいへんです。夏はほごえをします。ほが出て花がさいて、いねがみのります。秋には、ホタルがたくさん見られます。秋はお米が

たくさんれます。小さい田んぼだけど、三人かぞくが一年間食べられます。いねをはこぶときは、田んぼはかわいていて、もぐりません。冬は雪の下で春がくるのをまつています。くまやうさぎの足あとがついています。しみわたりもできます。そして、雪がとけて田んぼが見えてくると、田んぼの一年がはじまります。田んぼをはじめたころは、田んぼ名人の小林さんにしごとを教えてもらっていたけど、今はおとうさん、おcaaさんにそうちだんしながらわたしがおせわをしてい

ます。なえのうえかたや水のかんりやみぞ切りも、少しずつおぼえてきました。田んぼは、つかれるなあ、とわたしは思います。

もうすぐ四回目のいねかりです。わたしの田んぼでとれたお米と、大かく間でひろった山ぐりで作つたりごはんは、あまくて、ほくほくして、かぞく三人の大こうふつです。くりごはんを楽しみにして、つかれるしごとも、がんばっています。

これからもおいしいお米を作りつけます。